

新ビジョンに係る主な施策における主要事務事業(令和6年度・令和7年度)

主な施策	事務事業番号	主要事務事業名	事業概要	R6	R7	担当課	KPI (成果指標①)					KPI (成果指標②)					R6予算額(千円)	R7予算額(千円)
							事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値	事業目標	基準値	基準年度	R6目標値	R7目標値		
I 「稼げるまち」の実現																		
道路ネットワークの整備	1	主要な道路の整備(恒見朽網線など)	主要な街路・道路事業を重点的かつ速やかに整備することで、市内の渋滞対策、物流ネットワークの強化、地域間の連携・交流促進を図る。	●	●	道路計画課	道路整備による所要時間短縮の合計値(R13目標:52.8分)	—	—	1.9分	9.4分						3,147,694	2,890,913
	2	自動車専用道路ネットワークの整備	港湾・空港・鉄道ターミナルなど、拠点間を結ぶ交通・物流ネットワークの構築や地域間の連携・交流促進を図るため、環状放射型自動車専用道路ネットワークの整備を推進する。	●	●	道路計画課	枝光ランプ~戸畑ランプ間の所要時間短縮値(R15目標:25.5分)	—	—	25.5分(R15まで)	25.5分(R15まで)						1,567,000	1,861,000
II 「彩りあるまち」の実現																		
官民連携によるまちづくりの推進	3	折尾地区総合整備事業(都市構造)	折尾駅周辺のにぎわいづくりを推進する。	●	●	折尾総合整備事務所	賑わい空間を活用してイベント回数を増やす。	40回	R3	94回	112回						92,400	4,500
	4	都市再生整備計画(公園)	官民が連携し、東田地区の公共空間の魅力向上を図るとともに、観光交流拠点の中核にふさわしい都市環境の形成を推進する。	●	●	公園管理課	東田地区来訪者の平均滞在時間	1.2時間	R1	1.2時間	1.6時間	東田地区の主要地点における歩行者通行量	11,356人/日	R2	11,356人/日	13,000人/日	80,000	100,000
「北九州の台所」旦過地区のまちづくり	5	旦過地区再整備事業	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	●	●	神嶽川旦過地区整備室	特定消防区域(木造密集地)の解消	特定消防区域(木造密集地):5,278㎡	R1	解消率 61%	解消率 75%	計画規模降雨(1/50年確率)に耐えうる河川整備の完了	事業進捗率:0%	R1	事業進捗率:20%	事業進捗率:30%	803,741	2,806,076
魅力ある住環境の整備	6	折尾地区総合整備事業	駅を中心とした道路改築工事を推進する。土地区画整理事業区域内における宅地や道路整備を推進する。	●	●	折尾総合整備事務所	進捗率	89.0%	R5	93.0%	95.0%						3,313,685	3,251,152
III 「安らぐまち」の実現																		
浸水・治水対策のインフラ整備などの促進	7	主要河川の整備	近年、激甚化・頻発化する豪雨災害等の浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を実施する。	●	●	水環境課	浸水被害の低減(河川の護岸整備完了)	2河川	R5	2河川	2河川						1,503,100	1,379,000
	8	豪雨災害から市民を守る緊急対策事業	平成30年7月豪雨により被害が発生した河川の改修や河川情報システムの強化等により、市民が安全・安心を感じるまちづくりを推進する。	●	●	水環境課	浸水被害の低減(河川の整備完了)	4河川	R5	4河川	5河川						597,800	508,800
通学路の安全対策の強化	9	通学路の安全対策	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	●	●	道路計画課	子どもが関連した事故件数の減少	52件	R5	R5年比減少	R6年比減少						793,069	1,037,585

※R6年度の主要事務事業に該当する場合はR6欄に「●」、R7年度の主要事務事業に該当する場合はR7欄に「●」を記載しています。